

# 消えるバス路線

編集委員 末永陽子

## 日々小論



お盆明け、東京で知り合った神戸市出身の友人が嘆いていた。約半年ぶりに帰省したら、三宮と実家のある垂水を結ぶ高速バスの路線が廃止されていたという。

よほどショックだったのか、友人はバス停にあった「路線廃止」の張り紙をスマートフォンで撮影していた。それを見せながら「いつも乗客でいっぱいだったのに、どうして」と首をかしげた。

神戸だけではない。全国でバス路線の縮小が止まらない。背景には長期的な需要の減退に加え、運転手不足があるようだ。

日本バス協会は、2030年度に全国で運転手が3万6千人不足するとの試算を出す。24年に運転手の残業規制が強化され、人練りが悪化し、東京都心をはじめ都市部でも路線の維持が難しくなっている。

政府が5月末に公表した25年

度版「交通政策白書」によると、全国の路線バス事業者が23年度に廃止した距離の総延長は2496キロ、前年度の約1・5倍に増えた。同白書は「地域交通は危機的状況にある」と警鐘を鳴らす。

私が初めて運転手不足の記事を書いたのは2016年9月。当時の神姫バス会長、故・上杉雅彦さんの危機感がきっかけだった。運転手不足の深刻さを口にし「路線が無くなれば地域は衰退する」と繰り返していた。

労働環境の改善、女性や外国人運転手の育成、自動運転技術の検証……。この9年、自治体や関係会社も対策を練ってきた。今後は官民でさらに知恵を絞り、抜本的な解決には国が支える仕組みも必要ではないか。

乗って守るのも、地域の足を支える一つの方法だろう。もうすぐ秋の行楽シーズン。今年はバスの旅に出ようか。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 バス路線が縮小している理由を、本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう

--	--	--

2 路線バスがなくなると、どうなりますか。本文中から7文字で抜き出して書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--

3 路線バスを守るため、自治体や会社はどんな対策をしてきましたか。本文中から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

## NIEワークシートのこたえ（2025年9月8日公開）

◆ワークシート「消えるバス路線(社会)」  
2025.9.8付 朝刊 6面 解答

- 1 背景に
- 2 地域は衰退する
- 3 労働環